



News&Information

元気モバイル株式会社

2008年10月7日

Android用ボイスユーザーインターフェース登場

『Android用音声認識・音声合成向けミドルウェア開発』

元気モバイルとアルカディアが共同開発

元気モバイル株式会社(本社:東京都新宿、代表取締役社長 津守 正樹)と、株式会社アルカディア(本社:大阪府箕面市、代表取締役 天白 成一)は、携帯電話用ソフトウェアプラットフォーム「Android」に向けた音声認識・音声合成機能を組み合わせたミドルウェアを共同開発する運びとなりました。

■エンターテインメントと音声技術の融合で注目の実績

ゲームを中心とした携帯電話向けエンターテインメントコンテンツの企画・開発実績を持つ元気モバイルと、公共機関や、医療、教育等の分野において最先端の音声技術を研究し、多くの音声技術開発及び運用の実績を持つアルカディアは、両社のノウハウを融合し、2008年11月に独自に開発した携帯電話向け音声認識ライブラリ「呼魂」®をリリース致しました。

■世界初の「歌」認識機能を持つ「呼魂」®

「呼魂」®は、サーバーを介さず、携帯のアプリ内で、入力した音声を実95%以上、平均速度1秒前後(※)で認識するスペックを誇ります。「音声入力」ゲームアプリも、ストレス無く快適な状況でプレイでき、音声入力機能を持つNTTdocomoの905i以降のシリーズで、ユニークかつ斬新な音声対応アプリを数多くリリースしています。中でも、2008年1月にリリースされた「直感☆うそ発見器」は、音声認識アプリのジャンルでは、国内で最大のダウンロード数をカウント致しました。

また、本年6月にローンチした906iシリーズに搭載の「呼魂ver.2」は、世界初の「ユーザーの歌を認識する」機能を持ち、音声合成ライブラリ「SpeeCAN」®との組合せで、入力されたユーザーの歌を合成音声で出力することが可能となっています。(※)サンプル数1,000件。平均認識率、平均認識速度ともに元気モバイル株式会社測定。

■ノウハウを活かし、「Android」向けボイスユーザーインターフェースを開発

元気モバイルとアルカディアは、音声合成ライブラリ「呼魂」®にて培ったノウハウを利用し、「Android」用の音声認識・音声合成向けミドルウェアの開発に取り組んでいます。「Google Reader」を音声合成で読み上げるミドルウェアとして開発中の本技術は、以下の3点を開発の目標と設定しています。

- ・ニュース、メールを肉声に関りなく近い音声合成でのスムーズな読み上げ
- ・端末本体の操作を音声入力(音声認識技術)により行う＝「Android」のインターフェースの音声化
- ・上記の2つの機能を日本語だけではなく多言語での実現

本技術はNTTdocomo公式サイト『直感☆¥100ゲーム』内において、2008年8月に配信された『直感☆スポーツニュース』でも使われた実績のある音声合成エンジンを利用しており、「Android」上でニュースを日本語で読み上げる機能は実装済みです。

現在、「Android」におけるこの分野の本格的な開発は他に例が無く、次世代の携帯電話に最適なインターフェースの構築の実現を目指し、取り組んでまいります。

本件の実機デモンストレーションをご覧になりたい方、お問合わせのある方は、以下のお問合わせ先までお願い致します。



※上記QRコードより、元気モバイルのサイト「直感☆¥100ゲーム」内の「呼魂」®搭載のモバイルコンテンツをご覧いただけます。

＜本件のお問合わせ先＞

元気モバイル株式会社

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番12号 新宿ラムダックスビル5F

担当 櫻井 尚人[sakurai-n@genkimobile.co.jp]

TEL:03-5287-7701 FAX:03-3200-8588